

機器システム部材 セールス & テクニカルニュース

No.14-004A
2022年5月発行

表題	光ファイバケーブル経年劣化に伴う更新のご提案
適用機種	MELSECNET 用光ファイバケーブル

平素は当社製品に対し格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。
本資料は、設計上の耐用年数が20年である当社MELSECNET用光ファイバケーブルの経年劣化によるケーブル更新の提案についてご説明いたします。

記

1. 対象ケーブル

●MELSECNET 用光ファイバケーブル

シリーズ名	発売開始	コード色	備考
A型(L/Hタイプ)	1985年	橙	生産中止品
AN型	1993年	〃	〃
AQ型	〃	緑	〃
AG型	〃	水色/黒	〃
AS型	1995年	黄	現行品
SG型	1998年	黒	〃
QH型	2001年	水色	〃
QL型	2005年	紫	〃

●MELSECNET 用光コネクタ

CA9003(A型用)	CA9103(A/AG型用)	CA7003(AN/AQ/QL型用)
		
DL-72ME(AS/QH型用)	DL6-CP(SG型用)	
		

2. 光ファイバケーブルの耐用年数

光ファイバケーブルの設計上耐用年数は **20年** です。

3. ご提案

長期間ご使用されている光ファイバケーブルの場合、経年劣化に伴う伝送損失の増加やケーブル断線による通信不良が発生するおそれがあるため、

定期的な損失測定の実施を推奨いたします。

また、損失測定の際に前回よりも伝送損失が増加している場合は、

光ファイバケーブル更新のご検討をお願いいたします。

現地での布設工事や光コネクタ取付工事、損失測定のご用命を承っております。
ご購入いただいた代理店または販売店へお問合せください。
代理店または販売店が不明の場合は最寄りの当社窓口にご相談ください。(下部お問合せ先参照)

(参考)経年劣化の要因

光ファイバケーブルの耐用年数は設計上20年ですが、劣化の度合いはその布設環境や使用状況により大きく変化します。下記劣化要因をご確認ください。

【ケーブルの劣化要因】

- ① ケーブル内部への浸水
- ② 機械的要因(衝撃、圧縮、屈曲、捻回、引張り、振動等)
- ③ 熱的要因(低温、高温による物性の低下)
- ④ 化学的要因(油、薬品による物性低下)
- ⑤ 紫外線・オゾンや塩分付着(物性低下)

①～⑤の環境下でお使いの場合、光ファイバケーブルの耐用年数がさらに短くなります。

三菱電機システムサービス株式会社
お問合せ先

